

オリンピックは子どもたちに夢と希望を与え、平和に貢献する世界最大の祭典です。選手たちはこれまでの鍛錬の成果として素晴らしいパフォーマンスを発揮し、観客を魅了してくれます。

札幌は、1972年にアジアで初めてオリンピック冬季大会を開催しました。オリンピックの開催は、札幌が世界とつながるきっかけとなり、まち全体も大きく変わりました。あの時の感動と熱気は今でも、私たち札幌市民・北海道民にとって忘れられない思い出として語り継がれています。

1972年大会の成功をステップに、冬季アジア大会やノルディック世界選手権をはじめとした大きなウィンタースポーツの国際大会を多数開催するなど、札幌には毎年、世界中から多くのトップアスリートが訪れています。

また、札幌にはウィンタースポーツに親しむ文化が根付き、その文化は北海道全体に波及し、現在でも冬季オリンピックメダリスト輩出数日本一を誇るとともに、様々なプロスポーツを応援する風土にもつながっています。

さらに、現在は東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、オリパラ教育を始めとしたオリパラムーブメント推進事業に取り組むとともに、障がい者スポーツの裾野拡大の取組みも始めているところです。

私たちは、札幌で冬季オリパラを開催し、もう一度世界から、最高のパフォーマンスを発揮するアスリートと、その姿を楽しむ皆様を受け入れたいと思っています。そして、あらためてスポーツを通じて努力し続ける姿勢、フェアプレーの精神、他者を尊敬し理解する心を学びたいと思っています。

札幌には、多くの国際大会開催の実績と開催可能な競技施設、そして成熟したウィンタースポーツ文化が備わっています。札幌は、いつでも冬季オリパラが開催できる街です。

「北海道・札幌にオリンピック・パラリンピックを」

それが札幌市民・北海道民の願いです。

平成28年（2016年）11月

札幌市長 秋元克広

